学校名	南牧北小学校
ホームページＵＲＬ　http://w1.avis.ne.jp.//~ mksh	児童・生徒数　１２１名

(1) テーマ	(2) 活動の単位に○をつけてください
子どもたちが自ら課題を持ち、意欲的に活動しながら課題を解決していく力をつける総合的な学習の時間はどうあったらよいか。 テーマの分類（　①ーエ、③　） 下記の欄外記載事項を参照してください。	学級・同一学年・３～４年 ５～６年・学校・ その他（　　） 該当学年　　５年 （回答可能な場合）

(3) 活動のねらい

視覚障害者の疑似体験をした子どもたちが、盲導犬について調べたり、視覚障害者への支援を考え活動したりすることを通して、障害のある人たちに対する温かい心情を養うとともに、活動の見通しを立て、活動し、それを振り返ることを繰り返しながら問題を解決する力をつけることができる。

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）

○視覚に障害があることを疑似体験する。
○盲導犬についてインターネットで調べる。
○自分たちにできる視覚障害者への支援を考える。
○寄付金を集めるための活動を考える。
　・バザーしよう。　・学校林を活用して炭焼きをし、炭を販売しよう。
○集まったお金を寄付しよう。　　時数（　４０　）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）

○炭焼き窯は、費用などの関係で学校として設置する。
○炭焼きについては、地方事務所林務課の支援を受ける。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）

○炭焼き窯作りなど、時間がかかるものがあるが、できるだけ児童にやり遂げさせる。
○バザーについては、今後、保護者の方の協力を得る予定。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

○学習ファイルに活動を毎時間記録させ、教師が評価するとともに、児童が活動をふりかえりながら自己評価をさせていく。

(8) 成果と課題

○「だれかのために役立つことができる」という意識から、児童は意欲的に活動に取り組めている。
○児童自ら先を見通し、計画を立てることがなかなかできない。教師の出によって決まってしまうことがあるので、教師の出が大切である。
※２学期から始めた活動であり、まだまだ実践途中です。

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学校の特色に応じた課題